



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 椿本チエイン

コード番号 6371 URL <http://www.tsubakimoto.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長 勇

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長

(氏名) 和田 幸子

TEL 06-6441-0054

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	142,345	10.8	15,700	26.9	16,438	28.0	10,245	34.6
26年3月期第3四半期	128,462	18.6	12,369	35.3	12,844	36.7	7,612	42.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 16,887百万円 (4.7%) 26年3月期第3四半期 16,131百万円 (142.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	54.76	—
26年3月期第3四半期	40.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	252,394	135,522	52.3
26年3月期	228,840	121,628	51.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 131,934百万円 26年3月期 118,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	191,000	7.3	19,700	13.5	20,300	12.8	13,000	27.3	69.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	191,406,969 株	26年3月期	191,406,969 株
27年3月期3Q	4,308,627 株	26年3月期	4,292,184 株
27年3月期3Q	187,106,441 株	26年3月期3Q	187,134,096 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）における当社グループの事業環境は、わが国においては消費税率引き上げに伴い個人消費に弱さは見られるものの、政府経済政策の効果などにより設備投資が増加傾向となるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。海外においては、欧州経済は低成長が続き、中国経済も成長が鈍化しているものの、アセアン諸国を中心としたアジア経済が堅調に推移したことや米国経済の緩やかな拡大が持続したことなどから、総じて堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは「中期経営計画2016」の重点課題である、市場ニーズに徹底対応した商品開発やモノづくり、グループ総合力を生かしたビジネスの拡大に取り組むとともに、収益力の強化に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は1,461億81百万円（前年同期比12.5%増）、売上高は1,423億45百万円（同10.8%増）となりました。

損益につきましては、営業利益は157億円（同26.9%増）、経常利益は164億38百万円（同28.0%増）、四半期純利益は102億45百万円（同34.6%増）となりました。

なお、セグメント別の概況は次のとおりです。

[チェーン]

チェーンにつきましては、日本国内において動力伝動用チェーンや搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調であったことに加え、米国や欧州、アジアにおける搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調に推移したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、チェーンの受注高は456億46百万円（前年同期比11.9%増）、売上高は446億34百万円（同10.9%増）、営業利益は40億48百万円（同50.6%増）となりました。

[精機]

精機につきましては、中国における減速機の販売が減少しましたが、日本国内において減速機や軸継手、締結具、クラッチなどの販売が好調であったことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、精機の受注高は169億18百万円（前年同期比0.7%増）、売上高は165億70百万円（同5.3%増）、営業利益は18億35百万円（同8.6%増）となりました。

[自動車部品]

自動車部品につきましては、日本、米国、欧州、タイ、中国、韓国の各拠点において自動車エンジン用タイミングドライブシステムの販売が好調であったことから、前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は487億68百万円（前年同期比9.4%増）、売上高は491億38百万円（同10.7%増）、営業利益は90億60百万円（同19.1%増）となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、日本国内における物流業界向けシステムや創薬業界向けシステム、鉄鋼業界向けシステムなどの売上が増加したことに加え、欧州において工作機械向け金属屑搬送・クーラント処理装置の売上が増加したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、マテハンの受注高は333億22百万円（前年同期比26.4%増）、売上高は305億6百万円（同14.5%増）、営業利益は7億5百万円（同90.5%増）となりました。

[その他]

その他の受注高は15億26百万円（前年同期比7.3%増）、売上高は14億95百万円（同4.1%増）、営業利益は21百万円（同42.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して235億54百万円増加し、2,523億94百万円となりました。

流動資産は、仕掛品の増加などによりたな卸資産が56億81百万円増加したこと、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日であったことによる影響等により受取手形及び売掛金が48億80百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して140億77百万円増加し、1,147億4百万円となりました。

固定資産は、保有株式の時価上昇などにより投資その他の資産が71億42百万円増加したこと、生産設備への投資などにより有形固定資産が30億21百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して94億76百万円増加し、1,376億90百万円となりました。

(負債)

負債は、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日であったことによる影響等により支払手形及び買掛金が53億19百万円増加したこと、退職給付に係る負債が11億95百万円増加したこと、繰延税金負債等の増加によりその他の固定負債が13億16百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して96億59百万円増加し、1,168億72百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が72億2百万円増加したこと、為替の変動により為替換算調整勘定が39億58百万円増加したこと、保有株式の時価上昇などによりその他有価証券評価差額金が24億58百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して138億94百万円増加の1,355億22百万円となり、自己資本比率は52.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成26年11月7日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が12億2百万円増加し、利益剰余金が7億74百万円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,518	14,652
受取手形及び売掛金	44,337	49,217
有価証券	7,877	10,142
商品及び製品	13,028	15,497
仕掛品	9,150	12,184
原材料及び貯蔵品	7,446	7,624
その他	5,707	5,860
貸倒引当金	△440	△476
流動資産合計	100,626	114,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,465	26,296
機械装置及び運搬具（純額）	25,996	27,241
工具、器具及び備品（純額）	2,487	2,669
土地	37,472	37,666
建設仮勘定	4,430	5,999
有形固定資産合計	96,852	99,873
無形固定資産	5,807	5,119
投資その他の資産		
投資有価証券	19,207	24,707
その他	6,479	8,129
貸倒引当金	△132	△140
投資その他の資産合計	25,554	32,696
固定資産合計	128,213	137,690
資産合計	228,840	252,394

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,269	30,588
短期借入金	8,422	9,648
1年内返済予定の長期借入金	10,425	2,019
未払法人税等	2,944	1,978
賞与引当金	3,591	2,242
工事損失引当金	28	15
その他	11,322	15,240
流動負債合計	62,003	61,733
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	17,690	15,186
役員退職慰労引当金	213	135
退職給付に係る負債	10,910	12,105
資産除去債務	239	240
その他	16,153	17,470
固定負債合計	45,208	55,138
負債合計	107,212	116,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,658	12,658
利益剰余金	92,072	99,275
自己株式	△2,037	△2,052
株主資本合計	119,769	126,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,427	8,885
繰延ヘッジ損益	15	△112
土地再評価差額金	△11,348	△11,431
為替換算調整勘定	4,182	8,140
退職給付に係る調整累計額	△613	△504
その他の包括利益累計額合計	△1,336	4,977
少数株主持分	3,194	3,587
純資産合計	121,628	135,522
負債純資産合計	228,840	252,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	128,462	142,345
売上原価	90,686	98,605
売上総利益	37,775	43,740
販売費及び一般管理費	25,405	28,040
営業利益	12,369	15,700
営業外収益		
受取利息	49	93
受取配当金	435	486
その他	698	728
営業外収益合計	1,183	1,308
営業外費用		
支払利息	342	270
その他	367	300
営業外費用合計	709	571
経常利益	12,844	16,438
特別利益		
受取保険金	-	93
固定資産売却益	-	10
投資有価証券売却益	6	-
特別利益合計	6	103
特別損失		
投資有価証券評価損	-	44
特別損失合計	-	44
税金等調整前四半期純利益	12,850	16,497
法人税、住民税及び事業税	3,903	5,587
法人税等調整額	949	466
法人税等合計	4,852	6,053
少数株主損益調整前四半期純利益	7,998	10,443
少数株主利益	386	198
四半期純利益	7,612	10,245

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,998	10,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,025	2,458
繰延ヘッジ損益	△26	△128
為替換算調整勘定	5,054	3,998
退職給付に係る調整額	-	108
持分法適用会社に対する持分相当額	78	6
その他の包括利益合計	8,133	6,443
四半期包括利益	16,131	16,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,423	16,642
少数株主に係る四半期包括利益	707	244

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	40,248	15,734	44,389	26,653	127,026	1,436	128,462	—	128,462
セグメント間の内部 売上高又は振替高	891	208	—	38	1,138	575	1,713	△1,713	—
計	41,139	15,942	44,389	26,692	128,164	2,011	130,176	△1,713	128,462
セグメント利益 (営業利益)	2,688	1,690	7,605	370	12,354	37	12,392	△22	12,369

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△22百万円には、セグメント間取引消去210百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△232百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

(単位：百万円)

	チェーン	精機(注)	自動車部品	マテハン	その他	調整額	合計
のれん	—	391	—	—	—	—	391

(注) 「精機」において、当第3四半期連結会計期間に(株)ツバキエマソン(現：(株)ツバキE&M)の株式を追加取得したことにより発生したものです。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	44,634	16,570	49,138	30,506	140,850	1,495	142,345	—	142,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,076	318	—	61	1,457	604	2,061	△2,061	—
計	45,710	16,889	49,138	30,568	142,307	2,100	144,407	△2,061	142,345
セグメント利益 (営業利益)	4,048	1,835	9,060	705	15,650	21	15,671	29	15,700

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額29百万円には、セグメント間取引消去173百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△144百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。